

# 令和8年度 年頭訓示

## あなたは **どのジンザイ?** **人材 人在 人済 人罪 人災 人財**

施設運営と利用者の方々の生活を支える介護・医療・支援業務に真摯に取り組んでいただいていることに感謝します。

年頭訓示として

「あなたは **どのジンザイ?**」という話をします。

☒人材には6つ**人材 人在 人済 人罪 人災 人財**があります。

人は、会社・企業にとって

“資源”にも “財産”にもなるが、

使い方・働き方次第で

“負債”や “災い”にもなります。

現在 介護現場では**全国的な人材不足**という大きな課題  
の中にあります。

業務の多忙さや責任の重さから、心身ともに負担を感じる場面も少  
くないと思います。

また 忙しさの中で、「**人が足りない**」「**余裕がない**」  
と感じる日も少なくないでしょう。

人は、働き方や姿勢によって、組織にとって様々な存在となり、次の六  
つの「**ジンザイ**」として捉えています。

年の初めにあたり、

「あなたは、**どんなジンザイ**として

**この施設に存在しているのか**」

という話をしたいと思います。

まず「**人材**」とは、

知識や資格、技術を持ち、任された仕事を確実に遂行する人です。

次に「**人在**」とは、

そこにいるだけで周囲に安心感を与え、職場の土台となる存在です。

そして「**人済**」とは、

自身の仕事を通じて 利用者・家族・同僚を助け、支えている人を指  
します。

一方で、確認不足や責任回避により、周囲に迷惑をかけてしまう存在を  
「**人罪**」と呼びます。また、安全軽視、不誠実な対応、ハラスメント  
などによって、組織や利用者被害を与える存在は「**人災**」と言わざ  
るを得ません。

そして

**最も目指すべき存在が「人財」**です。

単に業務能力が高い人ではなく、周囲への配慮を忘れず、  
後輩を育て、信頼を積み重ねながら、施設の未来を形づくる人です。

人材が不足している今だからこそ、一人ひとりの存在の重みは、  
これまで以上に大きくなっています。

「人が足りないから 仕方がない」と諦めるのではなく、

**「人が足りないからこそ、どう支え合い、どう育て合うか」**

それが 私たち全員に問われている課題です。

本年、是非 折に触れて

自らに 問いかけていただきたいと思います。

**自分は、職場に安心をもたらす存在であるか。**

**自分の仕事は、誰かの助けになっているか。**

**未来の仲間を育てる姿勢を持っているか。**

介護は 決して容易な仕事ではありません。

しかし 人の人生に深く関わり その尊厳を守る  
誇りある仕事です。

本年も、あさきりむつみ荘 エムツウ・ダッシュが

**「ここで 働いてよかった」**

**「ここに 任せてよかった」**

そう言われる場所であり続けられるよう

職員一同 共に歩んで欲しいものです。

令和8年1月5日

(医) なごみ会 理事長  
(有) エムツウ・ダッシュ 代表取締役

**横山 光昭**

上所 重助さんの詩に「**おかげさまで**」といった素晴らしい詩  
を見つけました。紹介します。

夏が来ると「冬がいい」と言う

冬が来ると「夏がいい」と言う

太ると「痩せたい」と言い

痩せると「太りたい」と言う

忙しいと「暇になりたい」と言い

暇になると「忙しい方がいい」と言う

自分に都合のいい人は「善い人だ」と言い

自分に都合が悪くなると「悪い人だ」と言う

借りた傘も 雨が上がれば邪魔になる

金を持てば 古びた女房が邪魔になる

所帯を持てば 親さえも邪魔になる

衣食住は昔に 比べりゃ天国だが

上を見て 不平不満の明け暮れ

隣を見て愚痴ばかり

どうして自分を見つめないのが

静かに考えてみるがよい

一体自分とは何なのか

親のおかげ 先生のおかげ

世間様のおかげの固まりが自分ではないか

つまらぬ自我執着を捨てて

得手勝手な慎んだら

世の中はきっと明るくなるだろう

「俺が」、「俺が」を捨てて

「おかげさまで」、「おかげさまで」と暮らしたい